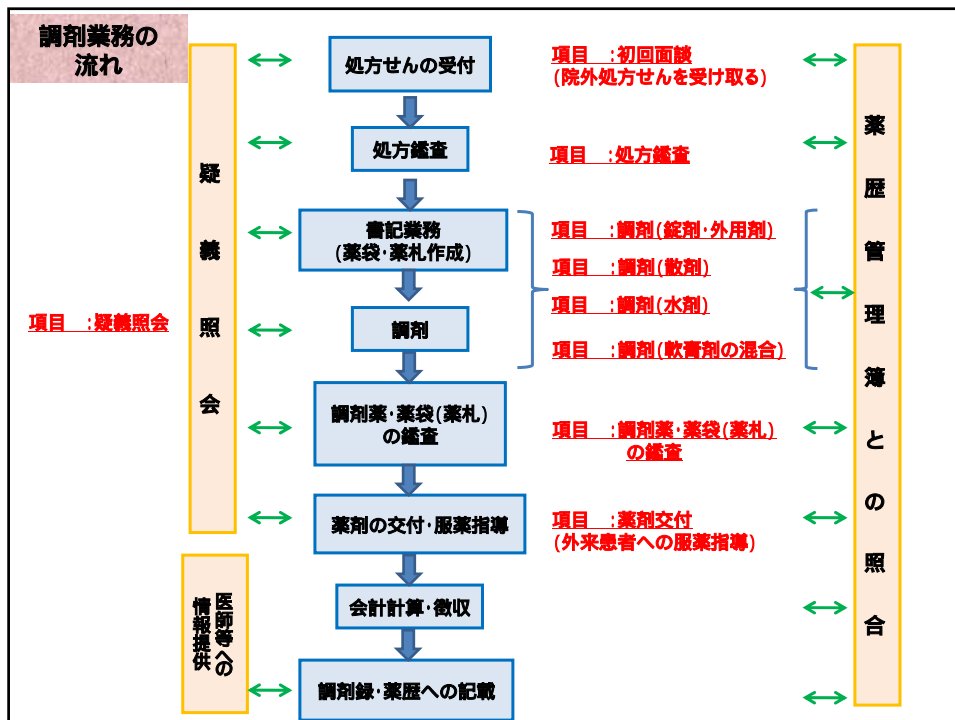


プレファーマシー実習 A

担当: 臨床薬学教育センター



実習項目

- 項目 : 初回面談 (院外処方せんを受け取る)
- 項目 : 処方鑑査
- 項目 : 疑義照会
- 項目 : 調剤 (錠剤・外用剤)
- 項目 : 調剤 (散剤)
- 項目 : 調剤 (水剤)
- 項目 : 調剤 (軟膏剤の混合)
- 項目 : 調剤薬・薬袋 (薬札) の鑑査
- 項目 : 薬剤交付 (外来患者への服薬指導)

実習スケジュール

日程	実習内容			2グループ	3グループ	1グループ
1	講義 DVD (実習用動画)			4月20日 (月)	5月26日 (火)	6月15日 (月)
2	内外用薬調剤量計算・薬袋 (ラベル) 記載 DVD (実習用動画) 演習 + 小テスト			4月21日 (火)	5月28日 (木)	6月16日 (火)
3	疑義照会 演習 実演			4月23日 (木)	6月1日 (月)	6月18日 (木)
	1 班	2 班	3 班	グループ・班分けは別紙参照		
4	実習 + 演習 II. 処方鑑査 III. 疑義照会	実習 IV. 調剤 (錠剤・外用剤) V. 調剤 (散剤)	実習 VI. 調剤 (水剤) VII. 調剤 (軟膏剤の 秤量・混合・充填)	4月27日 (月)	6月2日 (火)	6月22日 (月)
5	実習 IV. 調剤 (錠剤・外用剤) V. 調剤 (散剤)	実習 I. 初回面談 IX. 薬剤交付	実習 VIII. 調剤薬・薬袋 (薬札) の鑑査	4月28日 (火)	6月4日 (木)	6月23日 (火)
6	実習 VI. 調剤 (水剤) VII. 調剤 (軟膏剤の 秤量・混合・充填)	実習 VIII. 調剤薬・薬袋 (薬札) の鑑査	実習 I. 初回面談 IX. 薬剤交付	5月11日 (月)	6月8日 (月)	6月25日 (木)
7	実習 VIII. 調剤薬・薬袋 (薬札) の鑑査	実習 VI. 調剤 (水剤) VII. 調剤 (軟膏剤の 秤量・混合・充填)	実習 + 演習 II. 処方鑑査 III. 疑義照会	5月12日 (火)	6月9日 (火)	6月29日 (月)
8	実習 I. 初回面談 IX. 薬剤交付	実習 + 演習 II. 処方鑑査 III. 疑義照会	実習 IV. 調剤 (錠剤・外用剤) V. 調剤 (散剤)	5月14日 (木)	6月11日 (木)	7月2日 (木)

内外用薬調剂量計算・薬袋(ラベル)記載 演習・テスト

- ・講義
- ・演習(10処方)
- ・解答・解説
- ・テスト(5処方)
 - ・再テスト・解説は実習期間中に実施

(模擬処方9) 処方せん

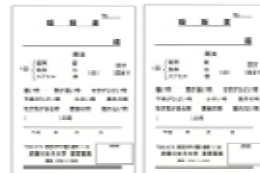
(この処方せんは、どの保険薬種でも有効です)

公費負担患者の 関係番号	00000000000000000000	保険者番号	00000000000000
公費負担患者の 関係番号	00000000000000000000	保険者証・被 保険者印の 記号・番号	11-111
姓	田村 真	保険医療機関の 所在地及び名称	西宮市甲子園九番町 11-88 武庫川女子大学附属病院
生年月日	2008年2月17日 男	電 話 番 号	0798 - -
区 分	被保険者 被扶養者	保 険 医 氏 名	内科 日本太郎
交付年月日	平成 21年 4月 20日	処方せん 使用期間	平成 年 月 日 (特にお薬の4割負担率 が適用される場合は4週間以内) 処方せん使用期間
処 方	1) アスベリンシロップ 0.5% (トリス 酸ナトリウム) 20 mg (成分量として) Δコダインシロップ 5% (カルボステイン) 300 mg (成分量として) 1日3回 朝昼夕食後 5日分 2) クラリスドライシロップ小児用 10% (クラリスドリン) 150 mg (成分量として) 1日3回 朝昼夕食後 5日分 実習用模擬処方 以下余白		
備 考	処方薬名(ジェネリック薬品) への変更が全て不明の場合、以下に番号又は記号・押印 保険者番号		
調剤年月日	調剤薬局番号	公費負担患者の 関係番号	00000000000000000000
調剤薬局の所在地 及び名称 保険者関係氏名	調剤薬局名	公費負担患者の 関係番号	00000000000000000000

【調剤する 数量】 * 水薬は、1回服用量が mL 単位で量数にならない場合には量数になるように常水で感形しなさい(薬杯で服用)

1. アスベリンシロップ 0.5% : _____ mL
2. Δコダインシロップ 5% : _____ mL } 加水する常水の量 : _____ mL
3. クラリスドライシロップ小児用 10% : _____ g + 分包装 : _____ 包

(計算メモ)



* 薬杯 (カップ): 不要 ・ 要 (mL)

項目 : 初回面談 (院外処方せんを受け取る)
項目 : 薬剤交付 (外来患者への服薬指導)

- ・課題: 2 課題 (内科系疾患、外傷患者)
- ・3人程度のグループで練習
(薬剤師役・患者役ともに学生)
- ・グループ内で相互チェック・フィードバック
- ・各班の代表者による実演、学生・教員によるフィードバック
(薬剤師役: 学生、患者役: 教員)
- ・自己評価 (客観評価・自己評価)

項目 : 初回面談 (院外処方せんを受け取る)
項目 : 薬剤交付 (外来患者への服薬指導)

- ・課題: 2 課題 (内科系疾患、外傷患者)
- ・3人程度のグループで練習
(薬剤師役・患者役ともに学生)
- ・グループ内で相互チェック・フィードバック
- ・各班の代表者による実演、学生・教員によるフィードバック
(薬剤師役: 学生、患者役: 教員)
- ・自己評価 (客観評価・自己評価)

相互チェック

- 各実習項目で実施
- 実習終了時に、学生同士で技能・態度を確認
- 相互チェックの内容をフィードバックする。

チェックシート		薬剤交付	
●評価者氏名: _____		対象者: 名前 _____	
【はじめに】			
患者さん呼びいれる	出来た	出来なかった	
自己紹介(フルネームあるいは姓)			
患者氏名を確認する(フルネーム確認)			
説明の目的を話し同意を得る			
【服薬指導】			
症状を再確認する			
患者の気持ちや不安について尋ねる			
アレルギー歴を再確認する			
副作用歴を再確認する			
薬剤名を読み上げて適切に示す			
薬効の説明をする			
数量の確認をする			
薬の使用方法を説明する			
注意すべき副作用の説明をする			
【クロージング】			
聞き漏らしや質問がないか尋ねる			
しめくりの言葉を言う			
【コミュニケーション】			
身だしなみ	出来た	出来なかった	
適切な姿勢・ふるまい			
適切なアイコンタクト・顔の向き			
適切な声の大きさ・スピード・音調			
ていねいで、わかりやすい言葉づかい			
開放型質問等を用いた積極的な傾聴			
共感の言葉がけ・態度			
適切な時間(5分程度)内に終了した	した	しなかった	
【その他気付いた点】			

自己評価

- 各実習項目終了時に自己評価表に記録
- 自己評価、客観的評価を行う
- 実習終了時に総合的評価を行う(達成点・反省点・課題等)

プレファーマシー実習 A 自己評価表				
()組()番 氏名()				
自己評価	月/日	実習項目	客観評価	自己評価
	/			
	/			
総合的評価(達成点・反省点・課題等)				

項目 : 処方鑑査
項目 : 疑義照会

- ・課題: 10 処方
- ・添付文書情報を用いて処方鑑査
- ・疑義照会すべき事項を整理
- ・2人1組で練習(医師役・薬剤師役ともに学生)
- ・教員(医師役)に対して疑義照会(1課題)
2名の学生が相互チェック
- ・自己評価(客観評価・自己評価)

項目 . . . : 調剤
項目 : 調剤薬・薬袋(薬札)の鑑査

- ・調剤: 20 処方
- ・鑑査: 6 処方
- ・3人程度のグループで調剤・鑑査
- ・グループ内で相互チェック・フィードバック
(各項目につき1処方)
- ・自己評価(客観評価・自己評価)

プレファーマシー実習 実習試験(実技)
平成21年7月6日(月)・7日(火)の2日間

7月6日(月)

- ・3課題(散剤・水剤・無菌調製)のうち1課題
(1課題6レーン×3課題=18レーン)
- ・試験時間:10分間(フィードバック1分含む)
- ・教員1名による評価

7月7日(火)

- ・3課題(散剤・軟膏剤・無菌調製)のうち1課題
(1課題6レーン×3課題=18レーン)
- ・試験時間:10分間(フィードバック1分含む)
- ・教員1名による評価

プレファーマシー実習 B

担当：臨床製剤学講座

内容

- 実習1 調剤を組み立てる1(基礎)
- 実習2 調剤を組み立てる2(応用)
- 実習3 医薬品の管理と取扱い(調剤)・
薬局製剤
- 実習4 無菌操作・輸液・栄養の基礎事項
- 実習5 輸液・補液

実習スケジュール

	1班	2班	3班
1日目	実習1 調剤を組み立てる1(基礎) <4F PC室>		
2日目	実習2 調剤を組み立てる2(応用)(1) <4F PC室/2F 調剤室>		
3日目	実習3 医薬品の管理と取扱い(調剤)・薬局製剤 <1F 調剤室/2F 調剤室>		
4日目	実習4 無菌操作・輸液・栄養の基本事項 <1F 調剤室>		
5日目	実習2 調剤を組み立てる2(応用)(2) レセコン<2F DI室>	実習5 輸液・補液(1) <2F 製剤室>	実習5 輸液・補液(1) <2F 無菌室>
6日目	実習5 輸液・補液(1)<2F 無菌室>	実習2 調剤を組み立てる2(応用)(2)レセコン <2F DI室>	実習5 輸液・補液(2) <2F 製剤室>
7日目	実習5 輸液・補液(2)<2F 無菌室>	実習5 輸液・補液(2) <2F 製剤室>	実習2 調剤を組み立てる2(応用)(2)レセコン <2F DI室>
8日目	プレゼンテーション <新棟CBT室>		

実習1 調剤を組み立てる1(基礎)

調剤処方箋

①ジゴシン散 0.1% (ジゴキシン) 0.15 mg (成分量)
1日2回 朝・夕食後 7日分

以下余白

①ジゴシン散 0.1% (ジゴキシン) 0.15 mg (成分量)
1日2回 朝・夕食後 7日分

以下余白

- 問1 ジゴキシンの構造式を記載しなさい。
- 問2 ジゴキシンの適用症を記せ。
- 問3 強心配糖体の特徴をまとめよ。とくにジゴキシン、ジギトキシン、メチルジゴキシンの違いについてまとめよ。
- 問4 服薬指導のポイントを述べよ。

実習2 調剤を組み立てる2(応用)

薬名	用法	回数	分
① エースコール錠 1 mg	1T	1日1回	朝食後
② ベリチーム顆粒	3g	1日3回	毎食後
③ リポバス錠 5 mg	1T	1日1回	夕食後
④ ハルシオン錠 0.25mg	1T	10回分	不眠時
⑤ モーラステープ	14枚		

① エースコール錠 1 mg 1T
ルネトロン錠 1 mg 0.5T
1日1回 朝食後 14日分

② ベリチーム顆粒 3g
1日3回 毎食後 14日分

③ リポバス錠 5 mg 1T
1日1回 夕食後 14日分

④ ハルシオン錠 0.25mg 1T 10回分 不眠時

⑤ モーラステープ 14枚

実習2 調剤を組み立てる2(応用)

- ・5グループに分け、処方解析。
- ・疑義照会。
(医師:教職員、薬剤師:学生)
- ・皆の前で服薬指導のロールプレイを行う。
(患者:教職員、薬剤師:学生)

実習3 医薬品の管理と取扱い (調剤)・薬局製剤

調剤処方箋

①アヘンチンキ 1.5 mL
②苦味チンキ 1.5 mL
③単シロップ 10.0 mL
精製水で全量を100 mLとする

- ①アヘンチンキ 1.5 mL
- ②苦味チンキ 1.5 mL
- ③単シロップ 10.0 mL
精製水で全量を100 mLとする

- 問1 調剤の注意点を述べよ。
- 問2 薬剤の作用機序・副作用について述べよ。
- 問3 服薬指導のポイントを述べよ。

実習4 無菌操作・輸液・栄養の 基礎事項

TPN講義 (TPN・電解質・経管栄養)
アドミックスを用いたカロリー計算

実習5 輸液・補液

(1) TPN 調製

1) 以下の模擬処方せんに基づいて輸液の調製を行いなさい。

R p. 1トリパレン2号 (1200ml)	1	1 2 0 0 m L
アミパレン (200ml)	3	6 0 0 m L
10% 塩化ナトリウム	1	2 0 m L
エレメンミック	1	2 m L
オーツカMV	1	5 m L

実習5 輸液・補液

2～3名のグループに分け、模擬処方を見せ、指導者のデモンストレーション後に、一人ずつ所定時間内に無菌調製を行い、グループ内でお互いの調製の仕方を評価し合った。

プレファーマシー実習 Bを終えて

緊張しやすい学生には、何度も練習をさせて慣れさせる必要がある。OSCE対策として、操作を他人に見られる練習が必要だと思う。(見られることに緊張してスムーズに操作できない学生がいる。)

学生がよくする失敗や、指導者側が特に注意すべき事項についてプレファーマシー実習 A担当者への申し送りを行った。